

私は、六論会を代表いたしまして、議案第1号から議案第6号までの議案6件、令和6年度一般会計予算及び各特別会予算並びに水道事業会計予算及び下水道事業会計予算の全てに賛成する立場で討論いたします。

令和6年度一般会計予算は、535億6,500万円で、前年度比2.5%、12億9,000万円の増となっており、過去最大の予算規模となっております。

歳入から申し上げますと、根幹となる市税は、土地及び償却資産の伸びにより固定資産税が前年度比0.9%の増、企業収益の改善により法人市民税が2.2%増となるほか、軽自動車税、たばこ税も増となりますが、定額減税による個人市民税の減が大きく、市税全体では約3億8,600万円、1.7%の減が見込まれています。この定額減税を補うため、地方特例交付金が大幅増となっており、地方の財源不足を補う普通交付税においても増となっています。その一方で普通交付税の代替である臨時財政対策債は大幅減となっております。必要な一般財源の確保が厳しい中、令和4年度、5年度予算に引き続き財政調整基金を取り崩すことなく収支均衡が図られていることを評価します。

次に、歳出について申し上げますと、物価高騰の影響が大きく各種経費の大幅な増大に加え、社会保障費が引き続き増加しており、依然として必要な一般財源の確保が非常に厳しい中、業務改善・効率化による経費削減に取り組み、適切な予算編成が行われたと評価します。

費目別に申し上げますと、総務費では、新たな運行計画によるコミュニティバス運行事業費や、新たな試みを追加した交通不便地域支援事業費が計上され、市民の利便性向上が図られているとともに、公共施設等適正管理事業費では公共施設の包括的管理により業務の効率化が図られております。

民生費では、子ども医療費助成金の制度が拡充され、子育て世帯の経済的負担のさらなる軽減が図られているほか、生活困窮、障がい者、高齢者、子供の支援が一体的に実施され、市民の様々なニーズへの対応や地域共生社会の実現が期待されます。

衛生費では、救急医療体制確保事業により市内救急告示病院の協力の下、市民の安全確保が図られるとともに、若年末期がん患者やその家族の身体的・経済的負担の軽減、在宅療養生活の質の向上を図るための助成金が新規計上されております。

今回の予算では、厚労省の進める重層的支援体制整備事業が、民生費、衛生費、介護保険特別会計予算に振り分けられており、市の福祉に対する方策が読み取れます。

これまで、厚労省では、今までの日本の福祉制度・政策は、子供・障がい者・高齢者といった対象者の属性や要介護・虐待・生活困窮といったリスクごとに制度を設け、内容を充実してきました。

しかし、急速な少子化・高齢化の進行、核家族化や一人暮らし世帯の増加など家族形態の変化、価値観や生活スタイルの変化などに伴う無関心や個人主義の広まりなどにより、様々な多様化する課題を解決するための重層的支援体制整備事業を打ち出しました。

重層的支援を進めるためには、行政及び地域の縦横に対する重層化が必要になります。その仕組み及び制度の明確化による重層化対策を要望します。

労働費では、雇用促進奨励交付金の対象年齢を引き下げ、50歳代の就職支援の充実が図られております。

農林水産業費では、玄米黒酢農法の推進をはじめとした農産物ブランド化に係る経費が増額計上されており、さらなる農産物ブランド化の推進を期待します。

商工費では、商品開発事業補助金の対象要件の見直しが行われ、地域資源の活用による地域経済の活性化を期待します。

土木費では、連続立体交差事業及びその関連事業の進捗が図られるとともに、人口減少、少子高齢化社会の到来に対応し、多くの人にとって暮らしやすいまちづくりを推進するための、立地適正化計画策定事業費や都市計画道路見直しの検討調査費が新規に計上されています。

消防費では、消防ポンプ自動車2台の更新のほか、職員資格取得の拡充や救急救命士の計画的な養成により、災害対応能力の向上が図られています。

教育費の学校関係では、子供たちから要望の多い学校トイレ洋式化をさらに加速しているほか、物価高騰の影響を踏まえた対応として、学校給食における野田産米購入費の全額公費負担、第3子以降の学校給食費無償化に加え、給食費の改定により増額する分の全額補助が新規計上されています。

また、福田体育館をはじめとした各スポーツ施設の整備や改修、文化・スポーツ推進奨励金の拡充、鈴木貫太郎記念館の再建に向けた活動などが計上され、健康スポーツ文化都市としてのさらなる発展が期待されます。

以上、主だったものを取り上げましたが、今後も厳しい財政状況が続くと思われれます。持続可能な財政基盤を構築するためにも、引き続き新たな財源確保やゼロベースでの事業見直しの継続をお願いします。

また、国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療の各特別会計予算並びに水道事業会計予算及び下水道事業会計予算についても、それぞれの目的に沿った適切な予算措置がなされていると評価します。

以上のとおり、私は令和6年度一般会計予算ほか全ての予算に賛成いたします。